

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2023年												2024年							
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月 ~7日	7月 ~14日
カンピロバクター	48	30	46	63	57	67	75	49	29	47	43	65	20	24	38	25	57	50	10 (11)	12
病原性大腸菌	47	37	55	103	120	108	102	56	52	49	80	102	43	61	105	92	79	76	19 (23)	9
腸管出血性大腸菌	1	1	4	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	3	1	0	1	2	0	0
サルモネラ	7	2	2	7	7	13	25	6	12	15	6	9	4	4	2	7	5	8	5 (6)	1
黄色ブドウ球菌 MSSA	15	10	13	14	21	8	12	15	18	21	18	16	6	4	16	4	12	21	3	0
黄色ブドウ球菌 MRSA	13	10	14	15	14	10	11	11	9	5	9	16	8	6	12	6	3	10	4	0
腸炎ピブリオ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	1	2	0	0	4	8	2	1	0	2	0	0	0	0	0	1	3	0	0
ロタウイルス	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0
アデノウイルス	0	0	1	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
ノロウイルス	14	11	6	1	1	0	0	0	0	0	0	4	9	20	10	3	4	0	1	0

()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和6年第28週(7月8日~7月14日)

2. 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市	
一類	0	発生なし	0								
二類	7	結核	7		1			1	2	3	
三類	0	発生なし	0								
四類	11	E型肝炎	1							1	
		日本紅斑熱	2			2					
		レジオネラ症	8		1	2		3		2	
五類	10	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2					1	1		
		急性脳炎	1				1				
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	1							
		侵襲性インフルエンザ菌感染症	1					1			
		バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1					1			
		梅毒	4		1				1	1	1

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、豊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島市、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

■コメント

1 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり8.17人の報告があり、前週の約1.5倍に増加しました。

県内では、呉市保健所管内で定点当たり8.06人(第27週)となったため、広島県は7月11日、県内に「新型コロナ医療ひっ迫注意報」を発令しました。広島市でも、第28週に医療ひっ迫注意報基準値(定点当たり8)を超過したため、注意が必要です。

手洗い、換気、マスク着用推奨場面(医療機関や高齢者施設等の訪問時)でのマスク着用、発熱等の体調不良時は外出を抑えるなどの感染予防対策を徹底しましょう。

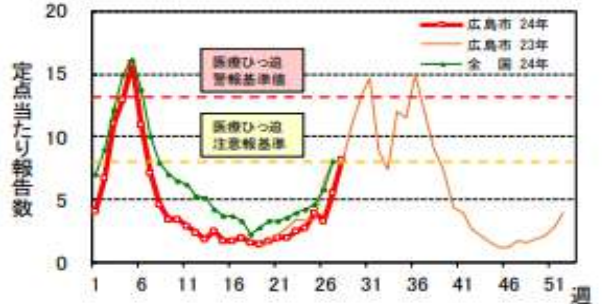
2 手足口病

定点当たり26.55人の報告があり、多い状況が続いています。手洗いの励行、オムツの適切な処理、タオルの共用を避けるなど、感染予防対策を心がけましょう。特に、乳幼児が集団で生活する保育園や幼稚園などでは、注意が必要です。

3 レジオネラ症

3件の報告があり、今年の累計は12件となりました。レジオネラ症は、河川や土壌など自然界に生息するレジオネラ属菌による感染症で、レジオネラ属菌に汚染されたエアロゾル(細かい水のしぶき)などを吸入することで感染します。国内では、循環式浴槽、冷却塔、入浴施設などによる感染事例の報告があります。これらの維持管理を適切に行いましょう。

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号
インフル	インフルエンザ	5	0.14	0.22		小児科	ヘルパンギーナ	21	0.95	1.53	
	新型コロナ(COVID-19)	286	8.17				流行性耳下腺炎	1	0.05	0.06	
小児科	RSウイルス感染症	19	0.86	3.29		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	
	咽頭結膜熱	5	0.23	0.44			流行性角結膜炎	3	0.38	0.28	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	53	2.41	1.33		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	72	3.27	3.99			無菌性髄膜炎	-	-	-	
	水痘	1	0.05	0.13			マイコプラズマ肺炎	10	1.43	0.03	
	手足口病	584	26.55	3.58			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	伝染性紅斑	1	0.05	0.08		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-		
	突発性発しん	9	0.41	0.34							

急増減 ↑ (前週と比較しておおむね1:2以上の増減)
 増減 ↓ (前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減)
 微増減 ⇄ (前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減)
 横ばい ⇨ (ほとんど増減なし)

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	35
小児科定点数	22
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	63	10歳未満
4	レジオネラ症	3	12	50歳代・推定感染地域: 国外、60歳代・市外、70歳代
5	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	4	70歳代
5	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	1	70歳代
5	梅毒	1	83	20歳代
5	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	6	80歳代